

2022年4月7日

講談社が QuizKnock 主催の 全国クイズ大会メインスポンサーに！

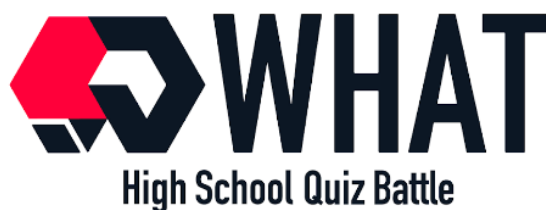
「KODANSHA presents High School Quiz Battle WHAT 2022」
本日より全国の高校生以下を対象にエントリースタート！

平素より弊社の出版活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

株式会社講談社(本社：東京都文京区、代表取締役社長：野間省伸)は、株式会社 baton が運営する QuizKnock が開催する全国の高校生以下世代を対象としたクイズ大会「High School Quiz Battle WHAT 2022」(2022年5月1日、8日、15日開催)に特別協賛することを決定いたしました。

「High School Quiz Battle WHAT 2022」は、クイズ王伊沢拓司率いる東大発知識集団「QuizKnock」が、全国の2004年4月2日以降生まれの高校生年代向けに開催するクイズ大会で、今回が第1回となります。

 KODANSHA Presents



君は世界を知る、世界はクイズを知る、クイズは君を知る。



KODANSHA

講談社×QuizKnock

◆講談社は、発足 5 周年を迎える「QuizKnock」の新たなチャレンジを応援します！

講談社は創業以来「おもしろくて、ためになる」の精神で、さまざまなクリエイターを支援し、多くの作品を生み出すサポートをしてきました。昨年、あらたに講談社のパーパスとして「**Inspire Impossible Stories**」(IIS)を掲げて、世界に羽ばたこうとしている若い才能の支援を始めています。

IISとは「物語の作り手と受け手の両者に新たな発見や創造性を提供し＝**Inspire**、あり得ない、見たこともないような＝**Impossible**、物語を生み出し、その物語がさらなる見たこともない現実を作る＝**Stories**」を表しています。

このたび発足 5 周年の QuizKnock が、知的好奇心旺盛な全国の高校生世代に活躍の舞台を用意するにあたり、クイズ大会「**High School Quiz Battle WHAT 2022**」を特別協賛することになりました。この大会から始まる若き参加者たちの物語が、それまでは想像すらしなかった可能性を開くことをサポートします。

「おもしろくて、ためになる」の講談社と、「楽しいから始まる」がコンセプトの QuizKnock の新しい取り組みにどうぞご注目ください！

◆QuizKnock とは

QuizKnock (クイズノック) は、東大クイズ王・伊沢拓司が中心となって運営する、エンタメと知を融合させたメディア。「楽しいから始まる学び」をコンセプトに、何かを「知る」きっかけとなるような記事や動画を毎日発信中。YouTube (<https://www.youtube.com/c/QuizKnock>) チャンネル登録者は 184 万人を突破。





KODANSHA

◆「KODANSHA Presents High School Quiz Battle WHAT 2022」概要

【スケジュール】 ●エントリー受付開始 4月7日（木）

- 1st day 5月1日（日） オンラインにて実施
- 2nd day 5月8日（日） オンラインにて実施
- 3rd day 5月15日（日） 東京都内スタジオにて収録

※2nd day、3rd dayは、それぞれその前の日程で勝ち残った方のみのお出場となります。
通過人数などの詳細は後日発表予定です

【参加資格】 以下を全て満たす方

- ・2004年4月2日以降に生まれた方
- ・エントリー時点で日本に在住している方

【優勝商品】 QuizKnock メンバーおすすめ書籍&特製図書カード 総額5万円相当

【詳細】 「KODANSHA Presents High School Quiz Battle WHAT 2022」特設サイト

<https://what.quizknock.com/>



伊沢拓司さんコメント

WHAT という生まれたての大会を、100年以上の歴史を持つ講談社さんにサポートいただけるということ、大変光栄に思います。「おもしろくて、ためになる」を積み重ねてきた若い世代が、それぞれの経験をこの大会で発揮できるよう、手を取り合って邁進いたします！



河村拓哉さんコメント

先日、講談社さんの『小説現代』(3月号)の表紙に QuizKnock から僕と須貝を起用していただきました。その号はめでたく完売したとのことで、おめでとうございます、ありがとうございます。講談社と僕のシナジーが強いのでしょう！
大会成功のためのスポンサーをまず講談社さんをお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。当日どんな素晴らしい大会ができるか、今からとても楽しみです！